

文化の力で大阪に活力を。

OSAKA*文化力

No.111

2010 WINTER・冬

リレーインタビュー

グレゴリー・ケイ

関西アメリカンセンター館長

Front Talk

熊ノ郷淳・大阪大教授に聞く

免疫学がリードする医療革新

大阪文化考

箏の素晴らしさを多くの人に

片岡リサ 箏演奏家

企業メセナ最前線

株式会社デサント

中西悦朗 社長

21 PREVIEW

関西・大阪文化力会議NOT1開催他

誌上舞台・文楽

文楽三味線

鶴澤清二郎

関西から

文化力

POWER OF CULTURE



財団法人

大阪21世紀協会

平成22年度 大阪文化祭賞受賞
箏演奏家・片岡リサ氏

グレゴリー・ケイ氏

関西アメリカンセンター館長

経済、文化、テクノロジー、エンターテインメントなどあらゆるジャンルで世界をリードするアメリカ。日本との関係の深さは、あらためて言うまでもありません。おりしも日米安保条約締結50年を迎える今年、アメリカの情報を発信する関西アメリカンセンターの館長グレゴリー・ケイ氏にお話を伺いました。



多彩な魅力あふれる関西

今年7月に大阪に赴任しました。夏の甲子園の熱狂が、関西での第一印象ですね。始球式と第1試合を見たのですが、人々のスポーツへの愛着にとっても感銘を受けました。大阪に来るまでに1年ほど日本語研修のため横浜に滞在していましたが、大阪に赴任が決まると同僚にうらやましがられましたね。食べ物はおいしく、人はフレンドリー、見どころもいっぱい、と。実際、大阪や神戸の現代性と京都や奈良の歴史的エリアの対比は、とても印象的です。平城遷都1300年祭にも行きましたが、歴史あるものを大切に、保存や修復に注力する姿勢は素晴らしいと思います。着任して日が浅く、伝統芸能などはまだあまり見ていないのですが、大阪にいたる間にできるかぎりたくさん見たいと思っています。宝塚歌劇も興味深いですね。

アメリカ人にとって、日本は今やそれほど遠い存在ではなくなりました。日本食はすっかり定着し、今ではアメリカのどこでも、一例えば両親の住むヒューストン郊外でも一手に入ります。アニメやマンガ、映画やテレビを通じて、日本はぐっと近いものになっています。私もウルトラマンを観て育ったんですよ。

Tell America's Story to the World —世界にアメリカを語る

アメリカンセンターのミッションは、世界の人々にアメリカの姿を伝えること。政治、経済、社会、文化など多方面にわたってアメリカを知ってもらうため、各種イベントやライブラリー運営、人材交流など多岐にわたるプログラムを展開しています。先日はソーシャルメディアの第一人者アリ・ウォラック氏の講演会を開催しました。彼は先の大統領選挙でオバマ陣営のブレーンとして、フェイスブックなど新しいソーシャルメディアをフル活用し、オバマ氏を勝利に導いた立役者です。ソーシャルメディアは文化や教育においても重要な役割を果たしており、今もっとも注目すべきトレンドだといえるでしょう。テクノロジーは文化の推進力でもあります。

グレゴリー・ケイ (Gregory W. Kay) 氏

駐大阪・神戸アメリカ総領事館広報担当領事 兼 関西アメリカンセンター館長。1963年、テキサス州ヒューストン生まれ。1990年、国務省入省。ウィーン(オーストリア)、テルアビブ(イスラエル)ほか欧州各地の大使館及びワシントンD.C.、ニューヨークにおいて情報技術、広

報関連の職務に従事。2010年7月より現職。仏・独・アルバニア語に堪能。趣味はフェイスブック・読書・旅行・写真。



Melting Pot—ダイナミズムの原動力

アメリカは国家としては新しい国ですが、それだけに過去を知ることが大切なことだと考えています。全米から学生や旅行者など多くの人が訪れるスミソニアン博物館など主要な施設は、政府の補助により入場が無料です。こうして自分たちの歴史や文化について知る機会を提供しているのです。

アメリカが世界をリードしているとすれば、それはアメリカ社会の多様性のゆえでしょう。アメリカは移民の国。世界のあちこちからやってきた人たちがもたらした多種多様な文化が混ざりあい、変化し、新しいものが生み出されていく、いわば世界中の人々のコラボレーションなのです。ノーベル化学賞を受賞した2人の日本人化学者が、ともにアメリカの大学で研究歴をもつということは、私にとっても嬉しいことです。世界中から人が集まり、出会い、混ざりあう。まさに「melting pot」であることが、アメリカのダイナミズムの源泉だと思います。

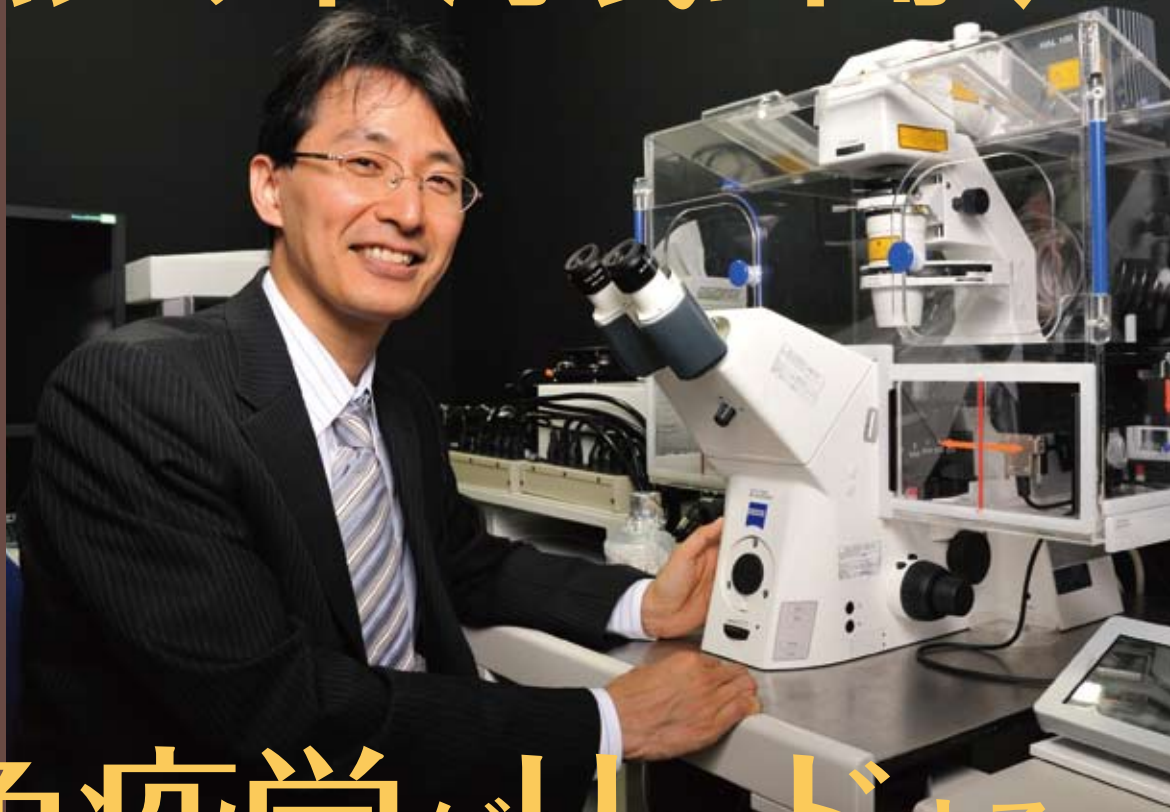
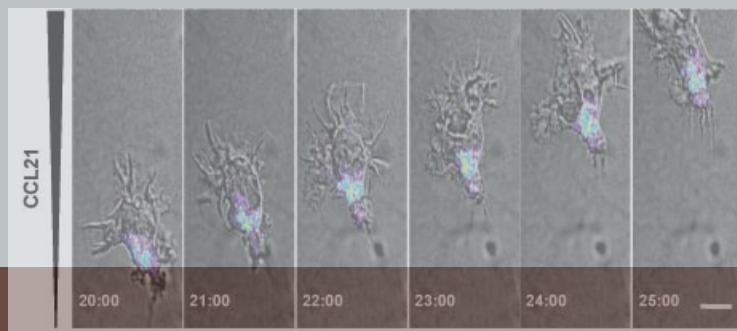


大阪北区・アメリカ総領事館にて

大阪の科学力

平成22年度大阪科学賞受賞

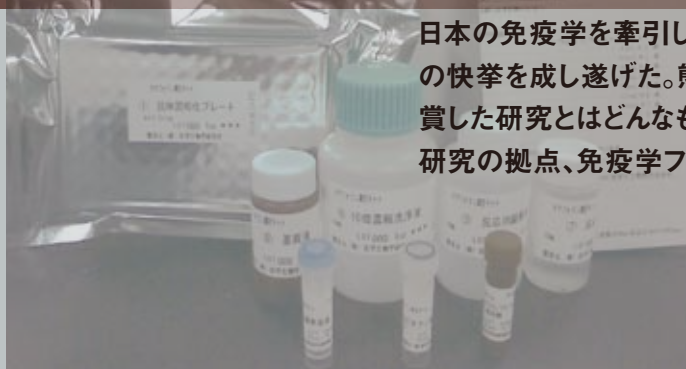
熊ノ郷 淳氏に聞く



免疫学がリードする 医療革新

熊ノ郷 淳氏
 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター
 微生物病研究所 感染症態分野 教授、医学博士)

日本の免疫学を牽引してきた大阪大学で、またひとり、優れた医学者が世界初の快挙を成し遂げた。熊ノ郷淳氏、44歳。今年10月、権威ある大阪科学賞を受賞した研究とはどんなものか、医学界における大阪や大阪大学の強みは何か。研究の拠点、免疫学フロンティア研究センターで聞いた。



聞き手
 堀井良殷
 (大阪 21 世紀協会理事長)

※大阪科学賞…1983年に大阪府・大阪市・財団法人大阪科学技術センターの三者で創設。理学、医学、薬学、工学、情報科学など、科学や新技術の発展に貢献した研究者を毎年2名顕彰している。

熊ノ郷 淳氏 に聞く

世界初の発見

堀井 この度は大阪科学賞を受賞され、誠におめでとうございます。

熊ノ郷 ありがとうございます。

堀井 今年はノーベル賞に日本人が二人も選ばれ、あらためて日本の科学技術力の高さが注目されています。大阪科学賞も同様に、これまで世界に名だたる研究者の方々が受賞されていますね。

熊ノ郷 私の師匠で第1回大阪科学賞(1983年)を受賞した岸本忠三教授(現・千里ライフサイエンス振興財団理事長)は、IL-6(インターロイキン)という免疫

ました。また、抗体のクラススイッチで高名な本庶佑(ほんじょたすく)教授(1984年受賞)も、私が入学する以前ですが、阪大の教授をされていました。このように世界に誇る日本の免疫学研究は、大阪大学が牽引してきたものです。私が免疫学研究の道に進んだのも、そうした世界トップの方々の刺激を受けたからです。

堀井 2007年には山中伸弥教授(京都大学iPS細胞研究所長)も大阪科学賞を受賞されています。そうしたお歴々に続いて受賞された熊ノ郷先生は、どのような思いでこの賞をお受けになりましたか。

熊ノ郷 日本の科学の発展に貢献され、



実験室にて

細胞の情報伝達分子を解明した功績で、2009年にスウェーデン王立アカデミーからクラフォード賞を授与されました。また審良静男(あきらしずお)教授(2002年受賞)も自然免疫の研究で毎年ノーベル賞候補に上げられています。さらに、肝炎治療などで用いられるインターフェロンの研究で高名な谷口維昭教授は現在東京大学におられますが、大阪科学賞を受賞された当時(1989年)は大阪大学におられ

現在も世界をリードされている方々が受賞された大阪科学賞をいただけたことは、本当に光栄に思います。同時に「これからも頑張れよ」と言われているようで、とても励みになっています。

堀井 そうですか。このたびの受賞対象となったセマフォリンによる免疫制御のご研究とはどのようなものか、ご説明いただけますでしょうか。

熊ノ郷 まず、母親の胎内で生命が発

生する過程では、いろいろな細胞が増殖・分化して、神経、血管、脳、心臓や肝臓といった臓器などが作られていきます。セマフォリンというのは“旗振り役”という意味の言葉で、増殖・分化のとき、神経の方向を決めたりネットワークづくりに関わる分子(蛋白質)であることがすでに知られていました。例えば脳のなかで、視覚領はここ、記憶領はあっちというように、神経の領域が整然と住み分けられているのは、ある特定の神経を誘導する因子と、その神経が入ってこないよう反発する因子のふたつが作用しているからで、それをガイドダンスしている一つがセマフォリンというわけです。1997年から阪大の微生物病研究所で免疫の病気に関わる研究をしようとしていた私は、あるとき免疫不全症関連遺伝子の中に、このセマフォリンがあるのを見つけました。本来は発生段階で神経系を作るためのセマフォリンが、どうして体を作り終えた後になって免疫系のなかに存在しているのか。疑問に思った私は、このセマフォリンについて詳しく調べました。こうして2000年に世界で初めて、免疫系で非常に重要な働きをするSema4Dというセマフォリンの存在を明らかにしました。

さまざまな病気治療に貢献

熊ノ郷 私たちの研究がきっかけになり、セマフォリンは免疫疾患だけではなくさまざまな病気の鍵分子であることが世界中で注目されてきました。日本では慶応義塾大学循環器内科の福田恵一教授のグループが、心臓の不整脈による突然死の原因にセマフォリンが関係していると発表して大きな話題になりましたし、横浜市立大学の五嶋良郎教授らのグループがアトピー性皮膚炎に対する治療効果を指摘してテレビ番組にも取り上げられました。さらには癌や骨粗鬆症の治療に貢献するセマフォリン、アルツハイマーや統合失調症といった神経の病気と関わるセマフォリンなど、さまざまな領域でセマフォリンが研究されてきています。

堀井 そのセマフォリンが、どのようにして病気治療に役立つのでしょうか。

熊ノ郷 専門的な話になりますので、画像を使ってご説明いたします。免疫システ

ムには、Bリンパ球や樹状細胞などのさまざまな種類の免疫細胞があり、そのひとつに免疫体質を決めるヘルパーT細胞というのがあります。このヘルパーT細胞は、インフルエンザウイルスやO-157細菌などに感染したときに働くタイプと、寄生虫などに感染したときに働くタイプの2つがあります。大事なことは、この2タイプのバランスを保つことで、これが崩れることでさまざまな病気が引き起こされます。そこで、Sema4Aというセマフォリンが、ヘルパーT細胞のバランスを制御する重要な役割を果たしているというわけです。とはいえ、Sema4Aが少なすぎても、多すぎてもこのバランスは保てません。少なすぎるとアトピー性皮膚炎などのアレルギーを発症します。私たちは実験で、Sema4Aの遺伝子を持たないマウスが、アトピー性皮膚炎を発症することを確認しました(画像A)。また、Sema4Aが多すぎると、例えば中枢神経が炎症を起して視力障害や運動マヒを起す多発性硬化症のような、自己免疫疾患を発症します。私たちは、神経内科の先生方と共同で、多発性硬化症の患者さんの血清中のSema4Aを測定するシステムを開発し、脳炎や脊髄小脳変性といった神経疾患に比べて、多発

(画像A)



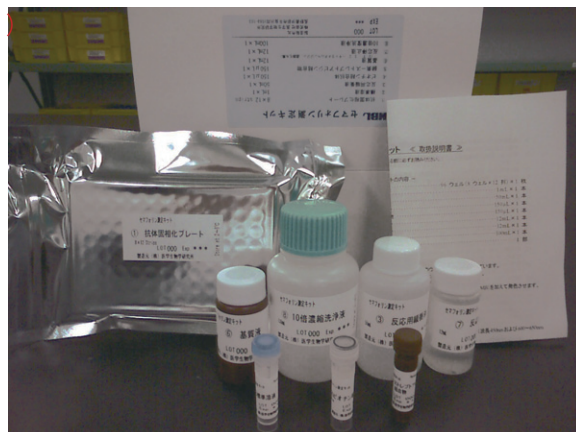
Sema4Aの遺伝子を持たないためにアトピー性皮膚炎を発症したマウス(上)と通常のマウス(下)

性硬化症の患者さんのSema4Aが過剰であることを突き止めました。さらに、臨床の現場でSema4Aを簡単に測定できるキット(画像B)を開発することで、診断を非常に簡便にし、多発性硬化症の患者さんの早期診断に役立てたいと考えています。こうした研究から、今後、Sema4AをコントロールしてヘルパーT細胞のバランスを保つことで、病気の治療に繋がっていきたいと考えています。

堀井 少なすぎたり多すぎたりするSema4Aを、どのようにコントロールするのですか。

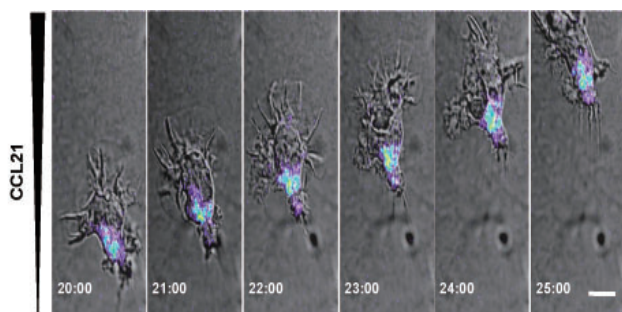
熊ノ郷 Sema4Aが少ない場合は投与します。アトピー性皮膚炎を発症したマウスにSema4Aを投与したら、皮膚の状態がかなり改善されました。一方、過剰なSema4Aを抑えるために、私たちは現在、民間の製薬会社と共同で、過剰なSema4Aをブロックする抗体医薬の

(画像B)



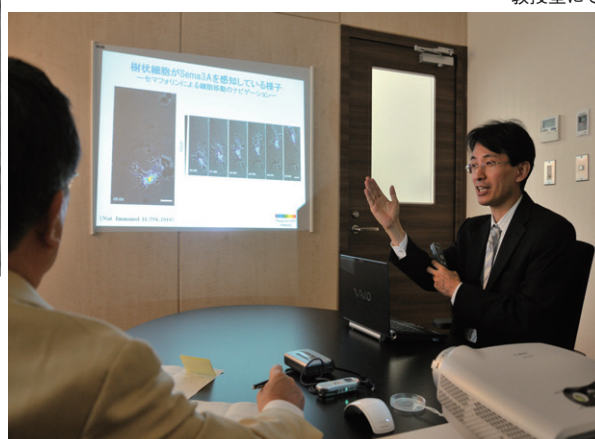
熊ノ郷教授らが開発したセマフォリン測定キット

(画像C)



樹状細胞がSema3Aを感知して移動していくようす(実際は動画)

教室にて



開発を進めています。動物モデルをつかった実験では、自己免疫的脳脊髄炎でマヒを起したモデルにこの抗体を投与すると、脊髄への炎症細胞(免疫の神経を攻撃する細胞)の浸潤が抑制され、症状がかなり改善しました。抗体医薬は日本が世界に誇れる技術ですので、是非ともセマフォリンを標的にした抗体医薬品開発を進めていきたいと考えています。

研究を支える先進技術

熊ノ郷 ここで動画をご覧に入れます。樹状細胞と呼ばれる免疫細胞が、Sema3Aというタイプのセマフォリンを感知して動いていくようすを、最新のイメージング(可視化)技術によって確認できる映像です。この度の大阪科学賞では、こうした解析手法も高く評価されました。ちなみに青く光らせているのは、樹状細胞の中でセマフォリンを感知している場所を示しています。こうした可視化技術には、オワンクラゲの発光物質を解明してノーベル賞を受賞された下村脩教授の研究も生かされています(画像C)。

堀井 細胞の動いているようすが、はっきりとわかりますね。

熊ノ郷 人間の体というのは、例えば皮膚から病原体が入ってくると、まずはそこで見張り番をしている免疫細胞(リンパ球)が攻撃をしかけます。しかしそれだけでは足りないので、免疫細胞はセマフォリンのナビゲートによって、リンパ管に潜り込んで免疫細胞の基地であるリンパ節へと

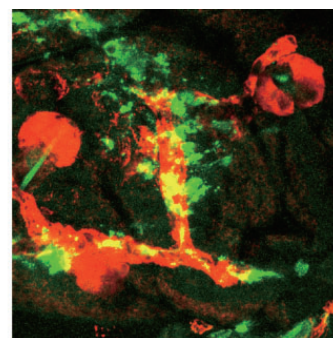
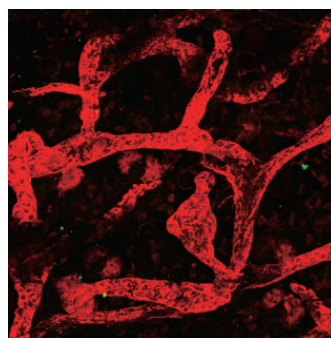
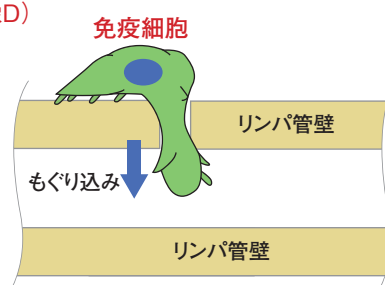
SOSを伝えに向かいます。こうしてSOSを受けた多くのリンパ球が加勢をしに出動するんです。ところがセマフォリンがないと、免疫細胞がリンパ管に潜ろうとしても潜り込めず、SOSを伝えることができません。私たちはそのようすも最新のイメージング技術を用いてライブ映像で確認しました。さらに、最新の3次元画像技術によって、セマフォリンが欠如していると免疫細胞がリンパ管に潜り込めず、やはりセマフォリンが重要な役割を果たしていることも確認しました。これらの画像は、共焦点顕微鏡や体の深いところまで鮮明に見える二光子顕微鏡という最新技術を使って得られたものです(画像D)。こうし

た可視化技術の進歩によって、今後は、細胞の動きをコントロールすることを目的とした創薬にも拍車がかかるでしょう。例えば癌は、血液やリンパの流れに乗って癌細胞が他の臓器にばらまかれてしまうことが怖いのですが、その動きをブロックして癌細胞がとどまってさえいてくれれば、あとは外科手術で患部を切除するだけですみます。現在、癌細胞の転移を抑える新しい治療法や薬剤の研究が世界中で進んでいます。

堀井 なるほど。可視化技術は、そのように活用されるのですね。

熊ノ郷 野口秀世は黄熱病の原因となる細菌を発見したといいましたが、じつは

(画像D)



免疫細胞(緑色)がリンパ管の管壁(赤色部分)を通り抜けて見えなくなった状況(左)とリンパ管周囲にとどまったままの状況(右・緑色部分)

熊ノ郷



間違いで、黄熱病の原因はウイルスでした。当時は電子顕微鏡などありませんでしたから、ウイルスが見えないのはしかたなかったんですね。野口英世のような天才が研究にすごいエネルギーを注いでも、それを支える技術が発達していないと得られる成果には限界があるということです。これまでセマフォリンが免疫の細胞をナビゲートしているなんてことは想像の域でしかなかったのに、こうした最新のイメージング技術を使うことで、それを見て確かめることができるようになりました。

1番になる意味

堀井 人体の細部のしくみが明らかになっていくのは、本当に興味深いですね。こうした世界のトップの研究や技術開発が、日本とりわけ大阪から発信されていくのはじつに素晴らしく夢のあることだと思います。

熊ノ郷 ところが最近、政府の事業仕分けで「2番じゃだめなんですか」なんて言われてしまう時代ですからね。

堀井 学術研究や知的創造の世界では、1番と2番が得る権利や利益には雲泥の差があります。これが国家レベルの競争となると、国民の将来にかかわる大問題ですよ。

熊ノ郷 二番煎じが特許として認められるなんてあり得ません。医療も同じで、2番の日本が1番の国の医療技術を使おうとすると、そこに対して特許使用料を支払わなければなりません。2番手に甘んじてい

ては、いずれ大きな国民負担となって跳ね返ってくるでしょう。だから誰も知らない、できないことを、最初にするのはとても大事なことです。

堀井 日本の研究者たちが先進諸国に伍して科学研究や技術開発にしのぎを削っているのは、一番でなければならないからでしょう。「2番じゃだめなんですか」などというのは、愚問というしかありません。

熊ノ郷 資源の乏しい日本では、世界に誇る特許を多く持つことはとても重要です。ところが国が本気で科学技術研究を積極的に支援する姿勢を見せないから、研究者たちは夢をもって仕事に打ち込めない。若い研究者の研究環境は非常に悪いです。

堀井 どのように悪いのですか。

熊ノ郷 いま企業の派遣切りが問題になっていますが、研究者の世界も同じです。研究職のポストに就いても3年や5年単位で更新されるし、一回きりの更新も多い。そうなるとローンも組めない生活を強いられてしまいます。研究者がそんな己の身の安住を考えて仕事をしてはいけなないのですが、就労条件としては非常に悪いですね。また、2年や3年で成果を出そうとすると、最初から結果の見えている研究に手をつけてしまいがちです。そうすると夢のある研究ができないですし、世界を驚かせるような成果も期待できません。

堀井 短期的、数量的な成果が重視され、それが政府の事業仕分けにみられるように、国民の人気取りのパフォーマンスになっていることに危惧を覚えます。こと学

術研究や文化振興を数字で測るのは間違っています。

熊ノ郷 たとえ1、2年の誤りであっても、研究の世界では、それが10年先に影響してきます。学問や技術開発というのは、ある程度継続して師匠から弟子へと代々伝えていくもので、それが途切れてしまうと取り返しのつかないことになってしまうでしょう。日本の航空機開発のように、非常に優れた技術をもっていながら、戦後の政治的な理由で開発力が途絶えてしまった例もあります。

堀井 今年ノーベル化学賞を受賞した根岸英一氏(米国バドュー大学特別教授)と鈴木章氏(北海道大学名誉教授)のお二人は、30年以上前の研究が評価されました。当時の日本は科学技術立国を掲げて邁進していた時代ですが、その成果が世界に認められるようになるまで長い時間が必要だったんですね。

熊ノ郷 科学技術の20年後、30年後を見据えた舵取りをしてもらいたいものです。

堀井 根岸教授は、「研究とは、人がやっ



たことをそのまま習っているだけではだめで、ニューコンチネント(新しい大陸)を発見することが大事だ。そのために夢をもって営々と間断なく、システマチックに、あきらめないでやっていくと、やがてそこに幸運の女神がチラッと通り過ぎることがある。それをつかまえることだ」とおっしゃいました。熊ノ郷先生は、今まさに、それをなさっているんだと思います。

大阪・関西を強くする

堀井 先ほど、研究とは師匠から弟子へ代々伝えていくことが大事だといわれましたが、大阪大学には山村雄一元総長をはじめとする方々が作られた研究拠点、今やクラスターを形成して切磋琢磨されていますね。阪大微生物病研究所の近くには国立循環器病センターやバイオの研究施設があり、神戸大学や京都大学、山中伸弥教授がおられた奈良先端科学技術大学院大にも近い。研究者にとって、こうした環境は大きな強みになりますね。

熊ノ郷 おっしゃる通りです。共同研究がしやすいですし、勉強会や研究会で一堂に集まるにも便利。携帯電話やメールがあるとはいえ、実際に会って話すことはとても大事だと思います。

堀井 ところで、大阪人は経済優先で儲けることばかり考えていると他都市から擲

揄されることがありますが、これは大きな偏見です。大大阪時代と呼ばれた昭和初期には、山口玄洞や竹尾治右衛門ら財界人が支援して、微生物病研究所の前身となる施設を作りました。江戸時代に遡れば大坂商人が懐徳堂という学問所を設立し、その出身者が弟子を育て、さらにその弟子が弟子を育て、幕末には大阪大学医学部の前身となる適塾が開かれました。熊ノ郷 岸本忠三先生は、「ノーベル賞級の発見をしても教科書の1行にしかならないかもしれないが、人を育てることで、優れた研究者や研究成果が拡大生産されていく」とおっしゃっています。歴史的に財界の暖かい支援を受けてきた大阪大学医

学部は、その懐の深さに支えられ、中央から発信される情報に振り回されることなく自分たちの信じた研究を続ける気概があったからこそ、今日の免疫学やバイオ研究のメッカとしての伝統が培われてきたんだと思います。

堀井 それがクラスターの形成につながり、大阪・関西の学術研究が発展して文化力が高まるのだと思います。熊ノ郷先生には、今後もその先頭に立って力強く医学界を牽引していただければと思います。本日はありがとうございました。

(2010年10月15日 / 大阪大学免疫学フロンティアセンターにて)

熊ノ郷 淳(くまのごう あつし)氏

1991年大阪大学医学部卒業、同大付属病院、大阪通信病院(現NTT西日本病院)での内科臨床研修を経て、93年大阪大学医学系研究科大学院(岸本忠三教授)で研究。97年大阪大学微生物病研究所分子免疫制御分野(菊谷仁教授)に移った後、セマフォリンの免疫系における役割を初めて解明。2003年同分野助教授、06年微生物病研究所感染症態分野教授に就任。07年10月より現職。05年第1回日本学術振興会賞、第8回日本免疫学会賞他、受賞多数。2010年10月『免疫セマフォリン分子群の同定による新規免疫制御機構の研究』で第28回大阪科学賞を受賞。



史上最年少の23歳で文化庁芸術祭新人賞(平成13年度・音楽部門)を受賞した片岡リサ氏。あれから9年、古典箏曲はもちろん、オーケストラとの共演や美空ひばりからバッハのコンタータまで弾き歌うなど、ジャンルを越えた片岡ワールドの魅力はさらなる広がりや深みを増している。すでに指導者としても活躍する片岡氏に、箏演奏家としての今の思いを聞いた。

先達の技と思いを継承

「箏でクラシックオーケストラと共演できるの?」って思われる方は多いと思いますが、宮城道雄(1894~1956)の流れをくむ者にすれば、オーケストラに箏がソリストとして加わるのはいたって普通のことです。

宮城道雄作品には、西洋音楽の発想を取り入れたものがたくさんあります。私の師匠の須山知行先生(大阪音楽大学名誉教授/1919~2009)は宮城道雄先生の直門で、西洋のクラシックにも精通されており、須山先生からは五線譜やクラシックはもちろん、いろいろな世界の音楽に学ぶべきだと教えられました。だからピアノやオーケストラとの共演は、そうした先生方がやっていたことを私もしているだけで、とくに目新しいことではないんですね。

また、箏の古典は江戸時代に作られたものがほとんどで、それらは基本的に弾き歌いです。ゆったりとした箏の音色に合わせて低い男声で歌う『地歌』というジャンルが確立されています。その後、宮城道雄先生が箏曲の歌曲を作り、ソプラノ歌手の伴奏をすることも多くありました。しかし、こうしたことはあまり知られておらず、私が箏で弾き歌うと珍しがられてしまうんです。

箏の素晴らしさを多くのの人に

平成22年度 大阪文化祭賞受賞
【片岡リサ氏に聞く】

大都市ならではの強み

大阪で生まれ育った私は、大阪の人情や食べ物などに大きな愛着を持っています。演奏で東京に行くことが多くなってからは、とくにそれを強く感じますね。また、大阪や関西のお客さんは笑いに対するノリがいい。演奏会などで箏について解説するとき、面白おかしく話したときの反応はすごく早いです。すると私も嬉しくなって、もっとお客様に楽しんでいただこうと、ときには話が脱線してしまうことも。それもまた楽しいんですね。

とはいえ、邦楽でも西洋音楽でも、公演数は東京のほうが圧倒的に多いです。全国から良い演奏会や演奏者が集まってきていますから、お客様も耳が肥えているし、専門的な知識を持つ人も多い。クラシックコンサートで、楽章の合間で拍手をせず静かに次の楽章がはじまるのを待っているように、聴く姿勢も心得ておられるように思います。

そうしたお客様の雰囲気の違いは、大阪と地方都市でも感じます。大阪も大都市ならではの強みを生かして、公演の数を増やすことで伝統的な邦楽に対する関心も高まり、大阪の文化力をもっと高めることができるように思います。

自分の道を究める

箏は1300年の歴史をもつ伝統楽器です。しかし現在、それを聴く人はとても少なくなってしまいました。私は大学以外でも箏を教えています。稽古に来られるのは50~60代以降の方々がほとんど。小学生となると、たった一人です。文部科学省が小中学校で邦楽の伝統楽器に触れるよう指導しているおかげで、一度は触れたことのある人が増えてきていますが、それだけでは次代の育成につながりません。だから若い人にも「箏って、ええなあ」と思ってもらうために、一般に知られた曲を演奏するのほひとつの方法だと考えています。そうして多くの人が気軽に箏を学べるようになり、優れた演奏者が育ってほしいと思っています。

今年、私は東京オペラシティ主催のリサイタル『B→C(バッハからコンテンポラリーへ)』大阪公演で、大阪文化祭賞をいただきました。21歳のときには大阪文化祭の奨励賞をいただいたのですが、当時はただがむしゃらに突き進んでいるとき。今回は自分の方向性を定め、J.S.バッハの曲を箏を弾きながら歌うという、今までにない新たなチャレンジでしたので、それが認められたことは大きな励みになりました。これを機に、もっと新しいこと、面白いことにチャレンジしていきたいと思っています。(談)

片岡リサ(かたおかりさ)

9歳で箏をはじめ、11歳で日箏連全国箏曲コンクール児童の部第1位受賞(1989年)。東京芸術大学と大阪音楽大学の両方に合格し、悩んだ末に大阪音大へ進学。在学中に大阪・いずみホールで毎年ソロリサイタルを行い、4年生で大阪文化祭賞奨励賞を受賞。以後受賞歴多数。文化庁の国内研修で声楽も修得。現在、大阪音楽大学、同志社女子大学、兵庫教育大学講師、宮城社師範。

大阪市淀川区・自宅にて



「一度やってみたかった」を500円で叶える! 250DOORS

アシェ(ラテン)ダンス(FLAVIO ALVES)
元USJダンサーが本場のラテンダンスを指導



デカ筆体験(田面遥華/浪速書道会)
体全体を使って大きな筆で描く書道体験講座

平成22年7月31日～8月24日(大阪市役所、大阪市中央公会堂、芝川ビル、大阪市立芸術創造館・大阪市旭区民センター、元・立誠小学校<京都市>)

主催: IWF実行委員会(LLPアートサポート、大阪21世紀協会、関西広域機構) / 共催: 大阪市

演劇や音楽、工芸、古典芸能、語学、育児、経営術など、さまざまなジャンルの体験講座に1講座500円で参加できる、日本最大のワークショップイベント。平成19年に38講座(38DOORS)でスタートし、毎年規模を拡大して今年は250講座の開催となりました。19日間の会期中、大阪市中央公会堂や大阪市立芸術創造館(旭区)、元・立誠小学校(京都市)など5会場で、のべ3,236人が「一度やってみたかった」という思いを叶えました。

歴代受賞者10人の作品を展示 アートストリーム 2010 in サントリーミュージアム[天保山]



窓氏(2009年・大阪21世紀協会賞)の展示

平成22年9月7日～20日(サントリーミュージアム[天保山])
主催: アートストリーム実行委員会(大阪21世紀協会、サントリーミュージアム[天保山]、大阪芸術大学、大阪府、大阪市)

優れたアーティストを数多く世に送りだしてきた「アートストリーム」。今年は第10回を記念して、これまでのアワード受賞者10人の作品を一堂に展示。9月17日には、漫才師で現代アートコレクターのおかけんた氏によるトークショーに加え、アーティストと来場者ら総勢100人による交流会を開催しました。



おかけんた氏(左)と
鮫島ゆい氏(2008年・
ウィジョントラック賞)
のトーク

高校吹奏楽の演奏に1500人がうっとり OSAKA水上音楽パレード2010

大阪市立扇町総合高校と四條畷学園高校による演奏



平成22年10月3日(大阪天満橋・大川、八軒家浜界限)
主催: 大阪水上安全協会、大阪21世紀協会

水上吹奏楽船の大阪市立扇町総合高校と棧橋上の四條畷学園高校による演奏でスタートした、OSAKA水上音楽パレード。今年は、住之江競艇の女性競艇選手による迫力のデモ航走や、「いいむろなおきマイムカンパニー」による映画のワンシーンを彷彿させるパフォーマンス、アパレルメーカー「Declare」による秋物ファッションショーなども開催。あいにくの雨で湊町船着場から道頓堀川での演奏は中止になりましたが、1500人の観覧者で賑わいました。

阪 咲友里選手(赤)と坂口 愛選手(青)による競艇デモ航走



大阪21世紀協会は、このイベントが高校吹奏楽発表の場としても活かされることを目指しています。

平成22年度各部門の受賞者決定! 大阪文化祭賞贈呈式

平成22年8月30日(クラブ関西)

主催：大阪府・大阪市・大阪21世紀協会

大阪での芸術文化活動の奨励と普及、文化振興の機運を醸成することを目的に、今年第48回を迎える「大阪文化祭」。今年度は、5～6月の2か月にわたり大阪府内で行われた52件の参加公演を対象に、厳正な審査の結果、優れた成果を上げられた方々に次の各賞を贈呈しました。

大阪文化祭賞グランプリ

OSK日本歌劇団 (バンディット!～霧隠才蔵外伝～)

大阪文化祭賞

片岡リサ

(「B→C(パッサハからコンテンポラリーへ)片岡リサ箏リサイタル」)

ザ・タロー・シンガーズ

(ア・カペラによるシューベルト「冬の旅」)

奨励賞

劇団往来・STAGE21・S.A.B.カンパニー

(ミュージカル「チンチン電車と女学生」)

吉田 一輔

(文楽若手会 人形浄瑠璃文楽「妹背山婦女庭訓」)

関西フィルハーモニー管弦楽団

(「関西フィルハーモニー管弦楽団 第221回 定期演奏会」)

関西歌劇団(関西歌劇団 第35回創作・名作オペラシリーズ「フィガロの結婚」)

()内は授賞対象公演



OSK日本歌劇団
(バンディット!～霧隠才蔵外伝～)

片岡リサ



ザ・タロー・シンガーズ
(ア・カペラによるシューベルト「冬の旅」)



大阪文化祭賞贈呈式
(平成22年8月30日/クラブ関西)

第7回大阪ミナミ芸術祭・シンポジウム

『音楽・文化と街づくりーミナミの観光集客の側面から』

平成22年10月19日(「ワッハ上方」ホール)

主催：ミナミまち育てネットワーク

日本のジャズライブ発祥の地ミナミで、音楽による街の活性化を考えるシンポジウム。サウス・サイド・ジャズバンドによる大正末期のスタイルでのオープニング演奏につき、基調講演では、NHKのテレビニュースで知られる孔 怡(こうい)氏(VISIT JAPAN大使)が、中国人観光客の習慣やミナミでの受入成功事例を紹介しました。さらにミナミジャズウォーク実行委員会委員長の野杵育郎氏がジャズによるミナミの盛り上げを映像で紹介。パネルディスカッションでは、ミナミまち育てネットワーク名誉会長の堀井良殷大阪21世紀協会理事長が進行役となり、高槻ジャズストリート実行委員会の北川潤一郎氏と定禅寺ストリートジャズフェスティバル(仙台市)実行委員会委員長の佐々木和夫氏が昨年度の実施状況を音と映像で紹介。大阪芸術大学教授・水田克氏、大阪観光コンベンション協会部長の狭間恵三子氏から、運営資金の内訳や住民の意識変化など多くの質問がありました。

パネルディスカッション



孔 怡氏



心と身体を通してスポーツの魅力を伝える

スポーツを遊ぶ

技を競ったり体を動かす楽しさだけでなく、今やスポーツには、“遊ぶ”楽しさが求められているとデサントの中西社長はいう。

インターネットなどの発達でさまざまなスポーツを観る機会が増えるなか、選手のファッションなスタイルに憧れ、おしゃれ感覚でジョギングやゴルフを始める人や、定年後にスポーツで若返りをめざす人など、スポーツをする動機も変わってきている。「近ごろはギャルファー（ゴルフをする若い女性）やゴルフ婚（ゴルフを通じた婚活）といった言葉まである」と中西社長がいうように、今やスポーツの楽しみ方は十人十色。こうしたニーズにも応えることで、スポーツを幅広い世代のライフスタイルに浸透させ、健康な身体と心づくりに寄与していきたいという。

とはいえ、少子化の影響でスポーツ人口は年々減少傾向にあるとも。そこで同社は、毎年有名アスリートを招いて「すこやかキッズスポーツ塾」を開催し、子どもたちにスポーツの楽しさを伝えている。夏に行われた2泊3日の教室では、テニスやサイクリング、カヤック教室をはじめ、手話などのグループワークを行い、スポーツの楽しさや仲間とのコミュニケーションを深めた。



すこやかキッズスポーツ塾
(平成22年7月 / 福島県・アルツ磐梯にて)

モノづくり企業として

1935(昭和10)年創業のデサントは、総合スポーツアパレル企業として、アスリートの高いパフォーマンスを支える数多くの素材・機能開発を行ってきた。そんな同社にとって、プロスポーツへの支援は欠かせない。ガンバ大阪や阪神タイガース、大阪エヴェッサなどへのサプライをはじめ、様々なプロスポーツチームを応援している。

一方、同社は、大阪商工会議所が中心となって推進する『理科大好き“なにわっ子”育成事業』にも参加。今年は大阪市内の小学校3校で、理科実験を



理科大好き“なにわっ子”育成事業
(平成22年6月 / 大阪市立小路小学校にて)



中西悦朗(なかにし えつろう)氏
昭和23年兵庫県出身。同46年関西学院大学経済学部卒業後、伊藤忠商事株式会社入社。平成19年6月株式会社デサント顧問を経て現職。

通してアパレル企業としてのモノづくりを教える活動も行っている。また、昭和54年にデサントの株式を基本財産とする「石本記念デサントスポーツ科学振興財団」を設立し、以来毎年、スポーツ科学に関する学術的な

調査・研究などへの助成を行っている。

関西伝統文化への思い

現在、大阪は大阪駅北ヤードでのスタジアム建築構想や、来年の大阪マラソン開催など、スポーツ分野からの活性化に期待がかかっている。中西社長はそうした動きにふれ、「スポーツに親しむ機会を増やし、それを大阪活性化につなげるためにも、相応の施設整備は不可欠だろう」という。

また、中西社長は、落語や文楽、歌舞伎、狂言などの伝統芸能通でも知られる。とりわけ落語は、学生時代『古典芸能研究部』に所属し、他大学の学園祭で持ちネタを披露して回ったほど。「上方落語の破天荒な面白さが好き。苦労も笑いで包み込む関西人の大らかさや強さに魅力を感じる」という。天満天神繁盛亭の建設にあたっては、個人名で積極的に支援もした。そうした経験から、現在、大阪で伝統芸能の鑑賞機会を増やす取り組みが行われていることに大いに期待する。「笑うことはスポーツと同じく健康に良い。それが一緒にできるような活動があってもいいかも」と話す中西氏に、関西人の大らかさを見る思いがした。

株式会社デサント / 大阪市中央区平野町4-2-16(大阪オフィス)
スポーツウエア等の製造および販売。1935(昭和10)年創業。
資本金38億4,620万円。年商760億円(2010年3月期・連結ベース)。従業員715名。

2011年

1月

18日(火)

お知らせ

成長する東アジアと日本の文化戦略を探る

ヨーロッパでは、かつて重工業で栄えた都市が文化を重点戦略に位置付け、都市再生と文化立都を競い合っています。一方、東アジアにおいては、韓国のように文化を国家の重点戦略として掲げ、力強い成長を遂げています。

グローバル化による画一化がますます進展する中で、東アジア各地域の文化の多様性こそが、新たな価値を創出し、産業競争力を高め、人々の豊かな生活に貢献する源泉です。今後のアジアの発展と安定のために、日本にもさらなる文化力の向上が求められています。

しかるに、日本の国家予算に占める文化の比率はわずか0.13%。フランスの0.86%、韓国の0.93%と比較しても極めて低く、関西においては自治体の財政難から文化予算は壊滅的な状況に追い込まれ、地域の豊かな個性が失われつつあります。

本会議では、中国の著しい成長を目前にして、韓国の具体的な文化戦略も参考にしつつ、東アジアの安定と発展のために日本が選択すべき文化戦略と、関西が果たす役割を探ります。



皆様の参加をお待ちしています！

「関西・大阪文化力会議 2011」

【日時】 2011年1月18日(火) 10:00 ~ 19:30

【場所】 グランキューブ大阪(大阪国際会議場) 10F

【主催】 財団法人大阪21世紀協会 **【共催】** 大阪国際フォーラム

【協賛】 株式会社大阪国際会議場

【テーマ】 「成長する東アジアと日本の文化戦略」

- 【スケジュール】**
1. 開会挨拶
 2. 基調講演
 3. 分科会討議
 - 第1分科会 テーマ「東アジアと共に進む日本の文化戦略を探る」
 - 第2分科会 テーマ「関西の文化力向上と戦略的発信」
 4. 合意事項採択
 5. 交流会

※分科会のテーマは変更する場合があります。

【参加費】 無料(但し、交流会のみ有料とさせていただきます)

お問合せ: (財)大阪21世紀協会
事業チーム/文化力グループ(乾、森)
TEL 06-6942-2004
FAX 06-6942-5945

※写真は2010年1月28日実施のもので





艶やかに春と福を呼び込む 堂島薬師堂節分お水汲み祭り

2011年2月3日(木) 14:00~22:00 堂島薬師堂、堂島・曾根崎新地一帯

水都大阪の原点ともいえる堂島薬師堂(大阪市北区)で、一足早く春を告げる恒例行事『堂島薬師堂節分お水汲み祭り』。町内を鬼と鬼追い隊が回り歩き鬼に豆を投げて厄を払う『鬼追い』と、堂島薬師堂で僧侶が参拝者の竹筒護符にお香水(こうずい)を汲み清め、春と福を呼ぶ『お水汲み』を中心として、龍の巡行や北新地のきれいどころによる『お化け(仮装)』、北新地芸妓衆の踊り、護摩焚きなどが予定されています。主催は、堂島薬師堂奉賛会や地元商店会、企業などでつくる堂島薬師堂節分お水汲み祭り実行委員会。大阪のもてなしの場であり、サロニックな存在である北新地・堂島界隈を、この祭りを契機として活性化し、ひいては水都大阪の再生につなげることを目指しています。



スタート地点の八軒家浜

平安貴族が歩いた道を辿る 熊野街道ウォーク

2011年3月12日(土) / 八軒家浜~住吉大社

昨年開催された『水都大阪2009』の成功をふまえ、河川を生かした観光先進都市、環境先進都市としての大阪の発展をめざすイベント『熊野街道ウォーク』。

水辺空間整備のシンボルであり平安貴族の熊野詣の出発点となった八軒家浜(天満橋)で、出発セレモニーの後、スタートし、ゴールは2011年にご鎮座1800年を迎える住吉大社を目指します。コースは九十九王子の王子社跡を辿りながら歴史を



ゴール地点の住吉大社(大阪市住吉区)

体感する12km、4時間ほど(止まらずに歩き続けた場合の見込み)で、途中、スタンプラリーなどのお楽しみも用意されます。

主催は熊野街道ウォーク実行委員会(社団法人関西経済同友会他)。参加申し込み方法等の詳細は12月下旬発表の予定です。

WEB版 「大阪鍋騒動」 更新中



2010年3月発行『大阪鍋騒動』
(A5版・24ページ)

繊細なダシと豊かな食材が会い、生まれた大阪の「鍋」。大阪21世紀協会が今年3月に発行した小冊子「大阪鍋騒動」は、鍋を通じて大阪の食文化を考えるユニークな内容が話題となり、新聞等で多数取り上げられました。

当協会では、この反響に応え「鍋」の研究をさらに深く広く展開するweb版「大阪鍋騒動」を当協会のHPに開設しています。

web版「大阪鍋騒動」には、大阪の老舗の鍋にまつわるエピソードやこだわりの技を掘り下げる「大阪鍋物語」、鍋を通じて関

西・大阪の文化を論じる「よもやま鍋ノ話」そして、バラエティー豊かな関西の鍋を紹介する「関西鍋地図」と3つのコンテンツを用意しています。記事は随時更新中。是非当協会のホームページをご覧ください。

なお、web版「大阪鍋騒動」は、当協会ホームページ

(URL: <http://www.osaka21.or.jp>) の「大阪鍋騒動」のアイコンをクリックしてご覧いただけます。



web版「大阪鍋騒動」
のアイコン

第55回関西新世紀展

関西全域から油彩、水彩、アクリル、版画などの作品を公募・審査のうえ約150点を展示。
◆12月7日(火)～12日(日)9:30～17:00/
大阪市立美術館／観覧料:一般600円、学生300円／問合せ:新世紀美術協会大阪支部 三浦敏和 ☎・FAX 06-6792-2569

ポスター天国 サントリーコレクション展

ポスターの歴史的名品を集めたグランヴィルコレクションを収蔵・活動の核として開館したサントリーミュージアム[天保山]。その最後の企画展。約400点の国内外の名品を展示。◆11月13日(土)～12月26日(日)10:30～19:30(入場は19:00まで)／サントリーミュージアム[天保山]／500円(高校生以下無料)／問合せ:サントリーミュージアム[天保山] ☎06-6577-0001 FAX06-6577-9200



(左)ピエール・ボナール《フランス・シャンパン》1981年、
(右)片岡敏郎《赤玉ポートワイン》1922年

芸術文化振興基金助成事業

大阪-セントペテルブルグ姉妹都市交流事業
ミュージカルロマン

女帝を愛した男

～ポチョムキンとエカテリーナ～

2009年、大阪市とセントペテルブルグ市は姉妹都市提携30年。31年目を迎えた今年、大阪の歌劇文化の代表OSKが、両市の文化交流事業として広く大阪市民に向けてミュージカル公演を開催。◆12月10日(金)～12日(日)・10日18:30～(1回公演)、11日11:30～、15:00～、18:30～(3回公演)、12日11:30～、



桜花昇ぼる

15:00～(2回公演)／大阪国際交流センター大ホール／S席7,000円、A席5,000円、B席3,000円／問合せ:OSK日本歌劇団 ☎06-6362-8838、FAX06-6362-8839

ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラコンサート

名手たちの交響楽団第19回大阪公演

ヴィルトゥオーゾとは「一流の演奏家」たちのこと。全国のプロオーケストラから、コンサートマスターや首席奏者を中心に理想的なオーケストラを編成し、日本のオーケストラ演奏の可能性にチャレンジ。J.ブラームス「交響曲第1番」「ハンガリー舞曲」、A.ドヴォルザーク「スラヴ舞曲」他。◆1月4日(火)16:30～18:30／ザ・シ

ンフォニーホール／S席10,000円、A席8,000円、B席6,000円、C席4,000円、D席1,000円／問合せ:メイ・コーポレーション ☎06-6262-7322



三枝成彰(プレトーク)



大友直人(指揮)

平成22年度大阪府立花の文化園 幼児・小中学生花の絵画展

幼児、小学生、中学生が花の絵画コンテストへ参加することによって、花を慈しむ心を育成。広く一般にこれらの絵画作品を紹介し、花への関心を高める。◆平成23年1月5日(水)～2月6日(日)・1月10:00～16:00、2月9:00～17:00／大阪府立花の文化園(フルルガーデン) イベントホール／入場料:2～11月 大人500円、高校生300円、12・1月 大人300円、高校生200円(中学生以下無料、年間入園パスポート1,500円)／問合せ:大阪府立花の文化園 ☎0721-63-8739 ・FAX0721-63-8741

第36回雅風展

世界に通じる日本固有の伝統芸術「BONSAI」。とりわけ掌上の芸術といわれる小品盆栽を通じて四季折々の情景を実感しつつ、心を癒す大切さと緑の潤いのある暮らしの良さを提案。◆平成23年1月6日(木)～9日(日)9:30～16:30(9日は15:00まで)／京都市勧業館「みやこめっせ」／800円／問合せ:全日本小品盆栽協会 ☎・FAX046-269-9891



姫リンゴ

第57回各派各流三曲定期演奏会

大阪三曲協会会員団体による箏、三絃、尺八等の演奏。日本音楽の普及発展を通して若手の育成と情操向上、鑑賞者の拡大をめざす。◆平成23年1月30日(日)11:00～18:00／国立文楽劇場大ホール／2,000円／問合せ:大阪三曲協会 ☎06-6245-0366、

FAX06-6245-0518

第30回記念大阪国際女子マラソン大会 2011大阪ハーフマラソン

御堂筋を道頓堀まで延伸するなど、コースを一部変更。第30回記念大阪国際女子マラソン大会は、第13回世界陸上競技選手権大会(2011大邱)代表選手選考競技会を兼ねて開催。◆平成23年1月30日(日)12:10～16:00／長居陸上競技場～昭和町～今川2～大池橋～勝山4～森ノ宮～OBP～北浜～大阪市役所～御堂筋・道頓堀南詰折り返し～淀屋橋～片町～大阪城公園～森ノ宮～勝山4～大池橋～今川2～昭和町～長居陸上競技場(42.195km)／※2011大阪ハーフマラソンの申込みは締切りました。問合せ:大会事務局 ☎06-6633-9632

第15回大阪武道祭

武道の普及振興と青少年健全育成を目的に開催。弓道、柔道、日本拳法、なぎなた、剣道、空手道、銃剣道、少林寺拳法の演武を、少



年・成年の2部構成で実施。◆平成23年2月11日(金・祝)12:30～16:00／大阪市中央体育館(サブアリーナ)／無料／問合せ:大阪府弓道連盟事務局 ☎・FAX06-6318-5112

関西桐朋会 第45回新人演奏会

平成23年3月に桐朋学園大学を卒業する関西出身者9名が、今後演奏家として関西で活躍するためのお披露目と関西の文化発展に協力する演奏会。ピアノ、声楽、チェロ、フルート、オーボエ、パーカッション、ハープ。◆平成23年3月27日(日)15:00～18:00／いづみホール／1,500円／問合せ:新人演奏会代表連絡係 ☎・FAX072-724-0653



※イベント内容の詳細については、各問合せ先にお問合せください。
※ここに紹介する以外にも、大阪21世紀協会は多数のイベントなどを後援しています。

大阪21世紀協会賛助会員へ入会のお願い

大阪の活性化のため、皆様のご支援をお願いします。

会費(何口でも結構です)

■法人会員一口につき年会費10万円

■個人会員一口につき年会費1万円

特典

1.協会が発行する刊行物の配布

2.協会が主催する各種セミナーなどへの案内

3.賛助会員の参考となる情報・資料の提供など

お問合せ(財)大阪21世紀協会 総務チーム TEL.06-6942-2001 FAX.06-6942-5945

誌上 舞台 文楽

古くからある太夫と三味線による語り物「浄瑠璃」に、3人遣いの緑り人形が合体した芝居で、江戸時代の大坂で誕生。人形浄瑠璃とも呼ばれる。ユネスコ世界無形遺産。太夫と三味線で上演する形式は素浄瑠璃という。

文楽三味線弾き



鶴澤清二郎(つるさわせいじろう)

昭和51年十代竹澤弥七に入門、研究生となり祖父(鶴澤藤蔵)の前名鶴澤清二郎を名のる。昭和53年鶴澤清治(人間国宝)門下となる。昭和58年朝日座で初舞台。平成8年から竹本綱大夫(人間国宝)の相三味線を務める。大阪文化祭賞奨励賞、咲くやこの花賞国立劇場文楽賞文楽優秀賞等、受賞多数。

昭和59年に文楽劇場ができるまで、文楽は道頓堀の朝日座で上演されてきました。小さい頃、父(竹本綱大夫)の舞台を見に行った帰り、ミナミのお寿司屋さんに連れて行ってもらえるのがうれしくてね。「文楽はええな」と幼心に刷り込まれていきました(笑)。

父からは面と向かって「文楽をやれ」とは言われませんでしたがお寿司の効果と(笑)、曾祖父・竹本源大夫、祖父・鶴澤藤蔵、父と三代続いた文楽の家に生まれ育った環境なのでしょう、小学校低学年の時には自分から頼んで地唄の三味線(細棹)を習わせてもらうようになりました。

文楽で使う太棹を始めたのは中学三年生から。胴も棹も細棹よりずっと大きく、糸も非常に強いので、最初は撥がはじき返されてうまく音が鳴りませんでした。それで糸に手ぬぐいを巻いて負荷を掛け、手首のスナップを利かせる猛特訓をしました。三味線弾きの腕が太いのは、皆こういう稽古を積んでいるからなのです。

細棹ではなく太棹をなぜ使うのかというと、音域がとて広いからです。細棹や中棹ではつかえてしまう乙(低音)の響きも太棹なら出せるのです。

余談ですが「ジャラーン」という残響は、琵琶の音に似ていると思いませんか。実は浄瑠璃の起源は、平曲を語る琵琶法師にあるとされています。舞台で太夫は見台の上に床本(台本)を置いているのに、三味線弾きには楽譜がないでしょう? それは盲人である琵琶法師に由来してのことです。

二つの音に万感の思いをこめて

このように文楽は唄ではなく「語り物」であり、三味線も伴奏ではありません。太夫の語りを助けて、老若男女、状況、複雑な感情を音で表現していく、芝居の演出の一つになっているのです。二つの音にも、何がしかの意味が込められていますので、それを感じとっていたら、と思います。



以前、父との稽古中、「そのチェーンという音では出られへん」と言い放たれたことがあります。説明は一切なし。自分で考えよというのです。たった一撥のチェーンなのに、どう弾いてもOKが出ず、毎回その下りが近づくにつれ緊張でカチカチになった覚えがあります。

新春公演の『傾城恋飛脚』では、遊女梅川を身請けするために公金横領の罪を犯した忠兵衛の身を案じて、父の孫右衛門が「憎いやつじゃと思へ

ども：かわゆうござる」と、苦しい胸の内を吐露する「新口村の段」をやらせていただきます。鳥の中でも情が深いという善知鳥の子別れになぞらえて、親子の永久の別離を語る終盤、三味線の音が瞬大くなる部分がありますが、これは親鳥が羽を広げて、巣に戻ろうとする我が子を追い払う様子を表しているといえます。

いかにして奥深い文楽の世界を伝えるか。上手に弾くことよりも、いえ、時には自分の芸を殺してでも、情を感じさせる三味線弾きになりたいと思っています。父の相三味線を務めて早十四年。大曲を思うように弾きこなせず落ち込んだ時期もありましたが、今も三味線弾きを続けていられるのは、師匠の鶴澤清治師をはじめ、みなさまの励ましがあつたおかげ。来春、父の竹本源大夫襲名に合わせて、私も鶴澤藤蔵を襲名させていただきます。いただけるのは望外の喜びです。



竹本綱大夫(左)、鶴澤清二郎(右)

初春公演

平成23年1月3日(月)～23日(日)
第1部11:00～「寿式三番叟」「傾城反魂香」
「染模様妹背門松」
第2部16:00～「駒山姫捨松」「傾城恋飛脚」「小鍛冶」
※14日より1部と2部の演目を入替
1等5,800円、2等2,300円
国立文楽劇場
地下鉄・近鉄「日本橋」下車
Tel.06-6212-2531 <http://www.ntj.jac.go.jp/>

竹本源大夫 鶴澤藤蔵 襲名公演

平成23年4月2日(土)～24日(日)5,800円
国立文楽劇場
平成23年5月7日(土)～23日(月)6,500円
国立劇場小劇場(東京)
清藤会 Tel&Fax.06-6654-0275